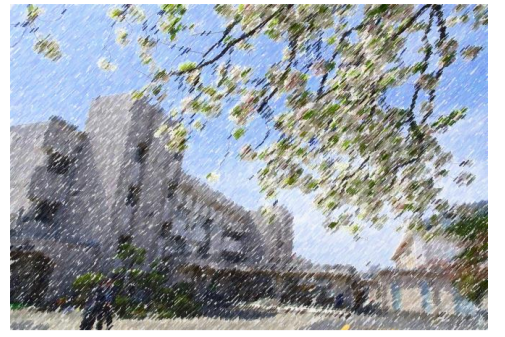


熊谷市立桜木小学校 グランドデザイン



学校教育目標 (目指す児童像) 「進んで学ぶ子」「心の美しい子」「強くたくましい子」

目指す学校像 「子どもが学び合い 教師が高め合い 地域とともに歩む 学校」
学校研究課題 「振り返り」の質を高め、思考力・判断力・表現力を育むための研究
～授業改善や総合的な学習の時間を中核としたカリキュラム改善を通して～

「新熊谷プロジェクト」で 学力日本一を目指します 学力とは「知力」、「徳力」、「体力」を合わせたもので、3つのバランスとれた学力の育成を図ります。

教科横断的で
オーセンティックな授業を

進んで学ぶ子 知

《目指す児童像》
・努力を惜しまず学び続ける児童
・自分の考えを積極的に表現できる児童
・課題解決に向けて(家庭)学習に取り組む児童

《子どもたちの学力を伸ばします》
・「見通し」と「振り返り」を重視した学習活動の展開
・「読み・書き・計算」などの基礎的な力の定着
・学び合いの活動を通して、思考力・表現力の育成
・学習内容を明確にした授業の展開
・課題に正対したまとめと、まとめと学習内容の整合性
・学習規律の徹底のための全校で共通した指導方針
・個に応じた指導の充実による一人一人の学力保障
・教科横断的でオーセンティックな授業による汎用的能力の育成
・活字を基本にICTを効果的に活用した授業の展開
・「ラウンドシステム」の考え方を全学年、全教科で実践
・「暗唱チャレンジ」を努力の成果物として努力する姿勢を醸成
・熊谷通知票の考えを生かした、課題を明確にした(家庭)学習の充実

- 校内基礎学力調査、正答率90%以上を目指す。
- 全国学テで、「国語」、「算数」とともに正答率80%以上を目指す。
- 県学調で、前年比プラスになる児童90%以上を目指す。

心の美しい子 徳

《目指す児童像》
・いじめを絶対にしない児童
・友だちと協力し、思いやれる児童
・気持ちのよいあいさつができ、感謝の気持ちを伝えられる児童

《子どもたちの豊かな心を育みます》
・熊谷の子どもたちはこれができます！「4つの実践と3減運動」の推進
・人としてよりよい生き方を考えさせる道徳教育の充実
・あいさつや感謝による道徳的実践の見える化
・体験活動や読書活動による豊かな心の育成
・適切な異学年交流による豊かな社会性の醸成
・話し合い活動を充実させ、協力して取り組む風土の醸成
・師弟同行の清掃活動による勤労・公共の精神の育成
・いじめ撲滅宣言によるいじめは絶対に許さない資質の育成
・JRC活動による奉仕の心の育成
・ノーマライゼーションの理念にもとづいた特別支援教育の充実
・人権感覚を身に付けるための人権教育の充実

- 4つの実践・3減運動に関する調査、実践の項目で「できる」と回答する児童が95%とする。
- 保護者アンケートの「あいさつ」に関する項目で90%以上の肯定的回答を得る。

強くたくましい子 体

《目指す児童像》
・進んで体を動かす児童
・目標をもって健康・体力づくりに励む児童
・できないことをできるまで粘り強く頑張る児童

《心身ともに健康な児童を育成します》
・運動量を確保した体育授業の実践
・新体力テストに向けた重点的な取組
・「さくら木タイム」の充実による体力の向上
・外遊びや桜木チャレンジによる体力の向上
・自他の安全に配慮して行動する能力の育成
・歯や体の健康についての関心の高揚とむし歯治療率100%の維持
・望ましい食習慣を身に付けるための食育の充実
・HQCシートを活用した生活習慣の改善

- 新体力テストで、県平均以上の項目を70%とする。
- 4つの実践・3減運動に関する調査の3減の項目で「できる」と回答する児童を70%とする。

家庭・地域との連携

(1) 学校運営協議会との着実な連携・協働
・目指す児童像の共有
・課題解決に向けた協働した取組

(2) 地域の組織との協力関係の維持
・学校キャンプへの協力
・読み聞かせへの協力
・地区運動会への協力
・公民館行事への協力
・子ども会育成会の行事等

(3) 学校応援団との積極的な連携
・グリーン・キーパーやフラワー・キーパーへの依頼と協力
・スクールガードとの連携
・学びサポーターの活用
・学校応援団感謝の会の開催

○学校運営協議会で出た課題を保護者・地域と教職員がチームとなり、児童にとってよりよい方向へと改善する。

学校経営の根本

- (1) “挑戦する”ことで、個人もグループも向上していくという風土を醸成する。
- (2) あいさつと感謝の言葉に溢れた、活気と気遣いに満ちた学校づくりに努める。
- (3) 授業で勝負するために研修を積み、わかる授業、児童主体の授業を展開する。
- (4) チーム桜木の力を結集し、知・徳・体の学力を育成する。
- (5) 全教職員で子どもを徹底的にかまうことで、児童が自己実現できる環境を整える。
- (6) 大人が手本となってモデルを示し、豊かな人間性を育む。
- (7) 保護者や地域社会との連携・協働を強化し、開かれた学校づくりに努め、児童の「生きる力」の育成に努める。

